

中学校 音楽

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ~大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ~大問 **4** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3** ~大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I これから放送されるア～オの音楽を聴いて、次の(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) ア～エの楽曲名と作曲者名を記せ。

(2) ①オの楽曲名を記せ。

②オで使用されている楽器名を記せ。

2 次の問いに答えよ。

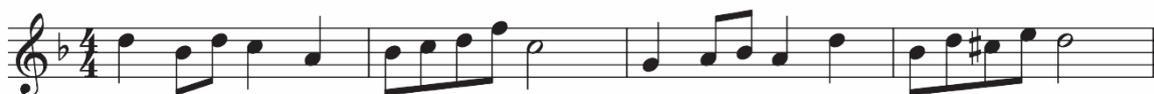
(1) 次の楽譜はTrumpet (in B \flat) で演奏する楽譜である。この楽譜をピアノで演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



(2) 次の楽譜はAlto Saxophone (in E \flat) で演奏する楽譜である。この楽譜をピアノで演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



(3) 次の楽譜はAlto Saxophone (in E \flat) で演奏する楽譜である。この楽譜をClarinet (in B \flat) で演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



(4) 次の楽譜はHorn (in F) で演奏する楽譜である。この楽譜をAlto Saxophone (in E \flat) で演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



3 次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 次の舞曲の拍子が適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 タランテッラ 8分の6拍子
- 2 ミロンガ 4分の2拍子
- 3 ポロネーズ 4分の3拍子
- 4 エコセーズ 4分の2拍子
- 5 フリアント 8分の6拍子

(2) 以下の弦鳴楽器のうち撥弦楽器を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 カマンチャイ
- 2 サントウール
- 3 サズ
- 4 二胡
- 5 サーランギ

(3) 1970年大阪万博のテーマソング「世界の国からこんにちは」の作曲者と同じ作曲者の作品を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 太陽がくれた季節
- 2 また逢う日まで
- 3 見上げてごらん夜の星を
- 4 この地球(ほし)の続きを
- 5 遠くへ行きたい

(4) ギターに関する説明について、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 指板を押さえずに鳴らす弦のことを「開放弦」という。
- 2 開放弦の音は、一番太い6弦から「E・A・D・G・B・E」の順に並んでいる。
- 3 一番太い6弦の音が低く、細くなるほど高い音になる。
- 4 指板を押さえて弦を鳴らしたとき、ヘッドに近いほど音が高く、ボディに近いほど音が低くなる。
- 5 ネックにある金属の棒のことを「フレット」という。

(5) 次のオペラ作品について、初演された順に、適切に並べられているものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 「オルフェオとエウリディーチェ」
「フィデリオ」
「さまよえるオランダ人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「蝶々夫人」
- 2 「オルフェオとエウリディーチェ」
「蝶々夫人」
「フィデリオ」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「さまよえるオランダ人」
- 3 「オルフェオとエウリディーチェ」
「フィデリオ」
「さまよえるオランダ人」
「蝶々夫人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
- 4 「フィデリオ」
「オルフェオとエウリディーチェ」
「さまよえるオランダ人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「蝶々夫人」
- 5 「フィデリオ」
「オルフェオとエウリディーチェ」
「さまよえるオランダ人」
「蝶々夫人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」

(6) 楽器の説明として適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 びんざさら 一端を細かく割った竹と刻みを入れた竹とを摺り合わせて音を出す。
- 2 篠笛 竹製の横笛。強い息音を入れずに、やわらかく吹く。
- 3 こきりこ 細い竹の棒を2本打ち合わせる体鳴楽器。綾竹ともいう。
- 4 口琴 杵を唇に軽く当て、切り出した弁の根元のひもを引いて弁を振動させる。
- 5 四つ竹 竹片2枚を持って、指と掌を使って打ち合わせる体鳴楽器。

(7) ヨハン・シュトラウス2世の説明として、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ドームマイヤー・カジノの舞踏会で、ワルツ「どうぞごひいきに」やポルカ「心からの楽しみ」など自作の数曲を演奏して、音楽家としてのキャリアをスタートさせた。
- 2 父の楽団と自身の楽団を合併し、華やかなワルツやポルカ、行進曲、カドリューユなどの作曲家として、熱狂的なファンを惹きつけた。
- 3 「美しく青きドナウ」や「酒、女、歌」などのワルツをいくつも生み出した。
- 4 合唱団ジングアカデミーやウィーン楽友協会の音楽監督に就任した。
- 5 舞踏音楽のほかに、16のオペレッタを作曲した。

(8) 音楽用語とその意味の組合せとして適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 *arioso* 堂々と・壮大に
- 2 *nobilmente* 上品に
- 3 *pastorale* 感情的に
- 4 *con brio* 動きをつけて・速めに
- 5 *appassionato* 悲しげに

(9) 次の曲名と作曲家の組み合わせとして、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

	曲名	作曲家
1	赤とんぼ	山田耕筰
2	砂山	團伊玖磨
3	早春賦	中田章
4	朝だ元気で	飯田信夫
5	椰子の実	大中寅二

(10) 竹本義太夫に関する文章として、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 大坂天王寺村の農家に生まれた。
- 2 井上播磨掾の弟子清水理兵衛に入門した。
- 3 大坂道頓堀に竹本座を創設した。
- 4 「曾根崎心中」で大当たりをとった。
- 5 竹本越路太夫が竹本義太夫の名を継いだ。

(2)「中学校学習指導要領(平成29年3月告示)第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容」について、次のA～Cの問いに答えよ。

A 次を示す空欄(ア)、(イ)に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕

2 内容

A 表現

(3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、(ア)こと。

イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。

(ア) (イ)の特徴

(イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴

- 1 ア 創作表現のイメージを膨らませる
イ 音のつながり方
- 2 ア 様々な表現を試す
イ 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方
- 3 ア 創作表現を創意工夫する
イ 音のつながり方
- 4 ア 課題や条件に沿った音を選択し組み合わせる
イ 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方
- 5 ア どのように創作表現するか思いや意図を持つ
イ 音階や言葉

B 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕

1 目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) (ア) ことや、(イ) ことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

- 1 ア 音楽的な見方・考え方を働かせる
イ 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連について理解する
- 2 ア 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する
イ 曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く
- 3 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚する
イ それらが生み出す特質や雰囲気を感じ取る
- 4 ア 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する
イ 音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く
- 5 ア 音楽的な見方・考え方を働かせる
イ 音楽に対する理解を深めながらよさや美しさを味わう

C 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕

2 内容

A 表現

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) ()

(イ) 楽器の音色や響きと奏法との関わり

- 1 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり
- 2 全体の響きと各声部の音との関わり
- 3 音楽を形づくっている要素や要素同士の関わり
- 4 用語や記号などと音楽における働きとの関わり
- 5 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり

- (3)「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」について、次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(2) 各学年の「A表現」の(1)の歌唱の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ア 歌唱教材は、次に示すものを取り扱うこと。

(イ) 民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち、生徒や学校、地域の実態を考慮して、(ア)。なお、これらを取り扱う際は、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、(イ) こと。

- 1 ア 伝統的な声や歌い方の特徴を感じ取れるもの
イ 愛着をもつことができるよう工夫する
- 2 ア 我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの
イ 愛着をもつことができるよう工夫する
- 3 ア 我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの
イ 生徒の意欲を高め親しみがもてるよう工夫する
- 4 ア 伝統的な声や歌い方の特徴を感じ取れるもの
イ 生徒の意欲を高め親しみがもてるよう工夫する
- 5 ア 我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの
イ 音楽文化と主体的に関わっていくことができるよう配慮する

